

**授業概要**

現代社会は自然のもたらす様々な恩恵を享受することによって成り立っているにもかかわらず、それらの恩恵を過小評価し、環境悪化はますます深刻化して解決困難な様相を呈しています。本講義では、自然科学・社会的な視点から「環境問題」を捉え、問題解決には何が必要なのかを考えることを目的としたい。扱うテーマは全て、①物事を様々な角度から考えること、②物事を批判的に見る目を持つこと、③常に弱者へ配慮を忘れないようにすること、④科学の限界を知ること、の4つの視座から成り、特に「人と自然とのつながり」に焦点をあてています。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス（講義の進め方や成績の評価方法などについて）
第 2 回	野生動物への餌づけ（野生動物へ餌をあげることによる影響）
第 3 回	野生動物の交通事故（野生動物の交通事故の原因と対策）
第 4 回	絶滅の危機に瀕している生き物たち1（レッドリストとレッドデータブック）
第 5 回	絶滅の危機に瀕している生き物たち2（生物が絶滅する原因）
第 6 回	森林機能と緑のダム（きれいな水を生み出すしくみ）
第 7 回	河川にすむ生き物たちとダム（ダムが生み出す功罪）
第 8 回	干潟にすむ生き物たち（「諫早干拓事業」を通して考える現代の農林水産業）
第 9 回	漁業資源の枯渇（魚介類の消費と乱獲から考える南北問題）
第 10 回	サンゴ礁にすむ生き物たち1（海の熱帯雨林「サンゴ礁」の成り立ちとしくみ）
第 11 回	サンゴ礁にすむ生き物たち2（沖縄に集中する米軍基地と環境問題とのかかわり）
第 12 回	戦争と自然破壊（今も続くベトナム戦争やイラク戦争の爪痕）
第 13 回	山と海をつなぐ川1（山は海の恋人とよばれる理由とは）
第 14 回	山と海をつなぐ川2（サケ・マス類の研究からわかる山と海のとつながり）
第 15 回	文明の崩壊と自然破壊（古代文明の衰退事例から学ぶ自然保護の重要性）
第 16 回	筆記試験

**到達目標**

- ① 「環境問題は社会問題である」ことを理解すること
- ② 個人の努力や価値観で考えるのではなく、様々な角度から問題を検証する習慣を身につけることができるよう、受講者の「多面的視点」を養成することを目的とします。

**履修上の注意**

受講人数の集中を防ぐため、第1回目のガイダンスに出席しなければ、受講登録を認めないので注意してください。また、講義中にスマホを見る、寝るなどに対して注意しても繰り返す者については容赦なく単位を落とします。厳しくする反面、受講生にとって興味深いであろう、とっておきの問題の題材ばかりを集め、また、受講生の人生観や価値観を変えるかもしれないような内容を用意していると自負していますので是非受講してください。魅力的な講義ができるよう最大限の努力をすることをお約束します。

**予習・復習**

- ・予習…次回の講義で扱うテーマのチェックは必ずしておいてください。授業内で予習や事前準備等の指示をすることがあります。
- ・復習：原則的に講義毎に必ずレポートまたは感想文を提出してもらいます。講義時間内に行ないませんが、これは講義を聞くだけでなく、学んだことを忘れないうちに整理し、自分のものにする訓練だと考えてください。

**評価方法**

講義内で実施するレポート（80%）、定期テスト（20%）

**テキスト**

- ・教科書名：生物多様性と現代社会：「生命の輪」30の物語
- ・著者名：小島望
- ・出版社名：農山漁村文化協会出版
- ・出版年（ISBN）：2010年